

学校運営協議会の活動の様子やコミュニティ・スクールの取組等についてお知らせします

## 地域とともにある小鹿野高校

### 埼玉県立学校初のコミュニティ・スクール

平成31年4月、県教育委員会は本校を含む県立学校3校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会を置く学校のことをいう。）を導入しました。県立学校へのコミュニティ・スクールの導入は、初の取組です。

学校運営協議会は、保護者、地域住民等の学校運営への参画や支援・協力を促進し、学校運営の改善並びに幼児、児童及び生徒の健全育成に取り組めます。

地域の皆様、小鹿野高校の充実・発展に向けて御理解・御協力をお願いします！



10/17 秩父鉄道SL「竹あかり号」

### 学校運営協議会委員

小鹿野町・地域おこし協力隊	本 奈代子
須崎旅館・代表取締役	須崎 真紀子
町営国民宿舎両神荘・支配人	齊藤 健一
P T A・会長	柏木 ゆかり
秩父まるとジオパーク推進協議会・上席推進員	吉田 健一

小鹿野高等学校・校長	浅見 和義
小鹿野中学校・校長	吉岡 章
小鹿野町・町長	森 真太郎
小鹿野町学校教育課・課長	南 徳秀
西秩父商工会・副会長	今井 敏夫

### 会長より挨拶

私は本校を卒業しました。在学中の山岳部経験から、山も楽しめる地質学へ進み、現在「大地と暮らしの関わりを探る」ジオパークガイドをしています。

先生と生徒の間が近く、きめ細かい指導が行われるのが大規模校にはみられない本校の特徴です。また、町内では多くの先輩方が活躍し、本校を自分の学校のように大事に思っています。林業・農業や蚕糸業が盛んだった時代は去り人口減が進んでいますが、秩父地域の自然や祭りが注目され、TVで紹介されることも多くなりました。観光客や観光業に従事する人も増え、新たな雇用が始まっています。この流れを加速させれば地元で働ける環境もできます。新たな分野で働ける幅広い資質を身につけましょう。

皆で応援します。 吉田健一



### 第1回学校運営協議会の様子

令和元年7月18日（木）13時30分～意見（抜粋）

- ・小鹿野高校はよく取り組んでいる。
- ・高校の存在価値が高まっていて、なくてはならない存在である。
- ・竹あかりの取組のような観光的な取組が地域の仕事となって地域に根付き、生徒が従事できればいいと思う。
- ・部活動で中高の連携を進めてほしい。
- ・地元事業所の定着率が数%でも上がるよう、管内事業所の情報提供等をお願いしたい。
- ・ボランティアを通して、普段学校で学べないことを地域とともに身につけさせたい。



Facebook 小鹿野高校 × 地域のコラボ日記【埼玉県立小鹿野高校魅力化プロジェクト】にて発信中

### あとかき

CS通信では、主に地域の方向けに学校運営等について紹介します。地域も学校の運営に参画し、地域の子供を育てる学校がコミュニティ・スクールです。学校の取組や課題等を知っていただき、地域の皆様の御支援・御協力をお願いします。

